



YMCA KOBE

YMCA NEWS

神戸青年 No.589

2008.7・8 July・August

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/岡山 泰典
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL.078-241-7201 FAX.078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷

- 三田センター
- 宝塚センター
- 西宮YMCA
- 神戸YMCA三宮本館
- 須磨YMCA
- 西神戸YMCA
- 西神南センター
- YMCAちとせ幼稚園
- 西神戸YMCA幼稚園
- YMCA保育園
- 西宮YMCA保育園
- 余島野外活動センター



神戸YMCA
年間聖句

あなたがたの光を 人びとの前に輝かしなさい。
(マタイによる福音書 5:16)



定期総会、開催!

神戸キリスト教青年会の定期総会が5月30日に開催されました。今年は2部から構成され1部で礼拝、議事および報告が行われ、2部では和やかな雰囲気の中で表彰、懇談およびお茶の会が催されました。

1部では武田寿子会長が議長を務められ、水野総主事より財団法人神戸YMCA、学校法人神戸YMCA学園、社会福祉法人神戸YMCA福祉会の2007年度事業概況の報告と2008年度事業方針の説明が行われました。また、名誉会員(座古谷光夫さん、今西政弘さん)の推挙の報告や125周年ロゴマークの発表が行われました。議事では役員候補者が武田寿子会長から提案され全会一致で常議員が選任され、新常議員と退任常議員が紹介されました。



2部は食堂にて和やかな雰囲気の中で表彰と懇談がおこなわれ、表彰はボランティア奨励賞が7の個人とグループに授与。また、特にご貢献いただいたお二人(長尾巨さん、青野桃子さん)に感謝状が贈られました。様々なYMCAの場面活躍する皆さんの支えでYMCAが成り立っていることを改めて実感する時となりました。総会の前日には近江岸建助さんが亡くなられたこの一年に天に召された多くの方を偲び黙祷をささげました。

同時に神様の下に召された方々に、残された者が神戸YMCAを支え続けることを固く誓う総会でもありました。

「神戸キリスト教青年会」新常議員

* 敬称略・順不同

下記の方が「神戸キリスト教青年会」常議員に選任されました。任期は2008年6月1日から2010年5月31日です。

常議員	鷗丹谷 剛	大塚 章信	大野 勉	岡田 佑一郎	小澤 昌甲(新)	尾上 尚司	川崎 孝子(新)
	川島 恵美	草野 修	熊谷 親啓	鈴木 博和	島田 恒	城 純一	鈴木 誠也
	武田 寿子	多胡 葉子	長井 慎吾	中尾 英輔	中道 基夫	野田 彩未	橋崎 頼子(新)
	濱 浩一	広瀬 一雄	松本 文男	水野 雄二	森 愛子(新)	森 紘一	安行 英文
	山口 政紀	吉田 昌義(新)					
監事	中條 道雄	山本 常雄	柳谷 利起				
(退任常議員)	大橋 一郎	加茂 周治	橋本 和子	星野 昌枝	吉田 明)	明)	ありがとうございました。



「現代の罪」

曾野綾子さんのコラムに「ガ
ンジーが書き残した七つの社会
的罪」というものがあります。
それは、一、原則のない政治

二、労働を伴わない富 三、良
心のない快樂 四、個性のない知識 五、道
徳心のない経済行為 六、人間性のない科学
七、犠牲を伴わない信仰 私たちはこの示唆
に深く納得がいくものです。ガンジーはこれ
らの上に、個人は責任をもって関わるのが当
然で、それをしないのは、個人の罪だと言っ
たのです。ガンジーのこのチェックは私たちに
「何が大事なのか」「どう生きれば良いのか」
を問いかけています。ドストエフスキーは
常に宗教と道徳の関係を追求しました。「カラ
マーゾフの兄弟」という彼の小説があります。
この家の主人はフォードルという人で、道徳
はゼロ、そして神を信じない。彼の長男のド
ミトリイは粗野で、だらしない人間であるが、
純粹な心を持っている。次男のイワンは頭が
良くて理論家で、神を信じていません。彼は
神が無かったら宗教はない。宗教が無かった
ら道徳もないと考えていた。そして道徳がな
いのなら何をやって構わない、親を殺して
もよいと思っていました。アリオシヤは信
心深く、非常に善人です。ここにもう一人腹
違いの弟スメルジャコフという、フォードル
家の下男の男がいました。この下男はイワン
の話聞いて、神が無かったら親を殺しても
構わないんだと信じて、このフォードルを殺
してしまおうとします。その嫌疑が長男のドミ
トリイにかかりました。その結果ドミトリイ
はシベリア送りになりました。それからイワ
ンはスメルジャコフから「自分が殺した」と
聞かされ、イワンはすごく悩みます。しか
しドストエフスキーは、ここからの救いを書
こうとしたのではないのだろうか。無神論の
恐ろしさを書いたのだけれども、そこからの
救いをアリオシヤという宗教心のある息子
を基に書こうとしたんじゃないだろうか。
宗教が衰退すると道徳はなくなる罪。このこ
とを第八番目の罪として付け加えたらどうだ
ろうか。
(安行英文)

神戸市では今年5月に環境サミット（G8環境大臣会合）が開催されました。
 神戸YMCAでも今年度の強調点として、環境課題への取り組みを通して、「いのち」の輝きを求め、平和を希求する働きかけを掲げています。
 神戸青年でも今月号より『神戸YMCAの考える環境』と題して様々な環境に対する取り組みや、発信をシリーズで展開します。

「テーマ」

- 7 / 8月号：資源について～クリーンキャラバンの取り組みから～
- 9月号：環境プログラム・環境キャンプ～サントリー・コープとの共同から～
- 11月号：子どもの中からだところの育みから
- 1月号：地球・汚染
- 3月号：～人口・国際・平和～



神戸YMCAでは、ユース（青年）が集まる場について、ユース委員会を中心に検討を重ねてきました。「若い力で何が出来るのか」、今回はそのひとつの形として、現役ボランティアリーダーやYMCAの専門学校生をはじめ、リーダーOB・OG、環境に関心のある一般の方も参加できるイベントとして「クリーン・キャラバン」私たちのまちをより美しく」を実施しました。また、G8環境大臣会合を機に、自分たちの住む街の環境について、ゴミを拾いながら考えるということも大切に考えました。

「資源について～クリーンキャラバンの取り組みから～」 6月1日実施



事前に下見をした際には、ゴミはたばこの吸い殻程度しかないと考えていたが、実際は想像以上にゴミが多量に落ちていた。主催スタッフも合わせ、総勢100名が4グループに分かれて、三宮の西・中央・東のルートを歩きました。汗ばむ陽気でしたが、小学生の子どもたちも疲れを見せることなくYMCAを指し、隅々に目をやりゴミを探しながら、拾っていきました。YMCAに到着後は、グループ毎に一日の様子を振り返り、「ひとりひとりが気を

つければ環境はよくなる、ひとつでも自分がエコをしたら、ワールドエコになる」などの感想が上げられました。最後には、エコピーパーでシンガーソングライター石田裕之氏によるエコ・トークとミニ・コンサートが行われ、感動的なフィナーレとなりました。参加者一人ひとりが今後自分の回りの小さなエコを大切に、上げていきたい、そんなことを実感した一日でした。



エコ活動には、「見て」「感じて」「気づく」ことが必要かもしれません。ぜひあなたも身近な環境へ目を向けてみては？

感謝

第18回チャリティーゴルフ大会

4月23日 千刈カンツリー倶楽部

- 青柳正志、青山龍一、市原法雄、今垣 亨、岩田洋子、植田淳子、大久保忠彦、大久保淑子、太田容子、大谷宇一、大西桂子、小笠原美根、小川勝之、奥井秀樹、尾崎 伸、尾上尚司、加藤光信、嘉納 洋、嘉納忠夫、木田誉昭、功力正士、黒木康之、合田純二、河野長生、小畑克己、芝川英美子、杉村 肇、高島武郎、高津 茂、武内浩子、武田寿子、竹増 操、多胡葉子、谷 紳一、富川和彦、中尾英輔、長澤智子、中村 剛、榎林 平、奈良山貴士、西田 新、橋本正晴、東野幸一、広瀬一雄、藤井記久子、堀 岩夫、堀江裕一、前田邦子、万本敬一、水野雄二、三宅 敬、宮本時博、安行英文、山川 一郎、山口政紀、山崎泰男、山下さくら、山田洋一、山本克己、山本常雄、山本 毅、横山政夫、吉原尚美、米田喜美、米田准三、足立康幸、郡 美恵子、敬称略・順不同、

寄付金

- 宮田泰子（宮田一雄）、川瀬純子（川瀬貴誉一）、濱 浩一、中條道雄、富川和彦、武田寿子、清水泰人（敬称略・順不同、4月1日～6月2日）

コミュニティサービスセンターより

兵庫県立文化体育館の紹介

2008年4月から神戸YMCA、兵庫県体育協会、日本管財株の3団体が指定管理者として共同で運営を始めた兵庫県立文化体育館は、山陽電鉄「西代駅」すぐ北側にあります。震災後17年が経過し、長田の街も大きく生まれ変わっています。体育館周辺は、道路が広く整備され、大きな公園が設けられ、新築マンションや住宅が軒を並べ、長田区で最も児童数の多い蓮池小学校が隣接しています。施設は本館とスポーツ館の2館から成っています。本館には会議室や研修室が9部屋、ピアノコンサートなどができる138人収容の小ホールがあります。また、最大2,814人が収容できる多目的ホールがあり、バスケットボールやバレーボール、バドミントンなどの公式戦が行われ、映画会などの文化的な催しも行われます。また、スポーツ館には7コースの温水プール、幼児用プール、トレーニング室、柔道場、剣道場、またエアロビクスなどができる多目的室や、バスケットコートが2面とれる体育室があり、両館合わせると、一か月で延べ約4万人の利用があります。



文化体育館では、日本画、洋画、書道や木彫り、茶道、俳句、英会話などの文化活動、またスポーツ関係はエアロビクスやヨガ、太極拳や社交ダンス、水泳教室など、全部で100近い講座が開講され、約2千名の方が受講して下さっています。特に今年度からウエルネスセンター学園都市とウエルネス事業委員の松本越生先生の協力を得て、「メタボリックシンドローム解消コース」をスタートさせることができました。5月5日のこどもの日には施設を無料開放し、チームライフル協会やトランポリン協会などの協力を得て、延べ1,700名の来館者を得ることができ、大盛況でした。プールやトレーニング室は気軽に1回ずつ利用できるシステムで、休館日は毎月第一月曜日のみです。各課では、YMCAの職員や講師がそれぞれ役割を担っておりますので、お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りくださり、お声をおかけください。

兵庫県立文化体育館 豊田 伸(コミュニティサービスセンター 副本部長)

2007年度YMCA国際協力募金へのご協力、ありがとうございました

【募金収入】 (単位:円)	
通常募金	3,712,457
緊急募金	240,000
計	3,952,457

【募金使途】 (単位:円)	
日本YMCA同盟拠出金	800,000
アフガン難民支援(同盟拠出)	40,000
パレスチナ難民支援・オリーブの木(同盟拠出)	70,000
バングラディッシュ・サイクロン(同盟拠出)	100,000
神戸YMCA日本語学校就学生奨学金	240,000
エイズ孤児支援・エイズ教育支援(タイ・チェンマイ)	300,000
タイ・ワークキャンプ及びボランティアチェンマイ派遣	729,993
国際活動リーダーシップ養成	626,970
開発・国際理解教育	347,870
能登半島地震被災地支援	150,000
中越沖地震被災地支援	90,000
事務所経費	457,624
計	3,952,457

ソナタ 奏鳴曲 No.33



天国の建助さんに届け!

総主事 水野雄二

今年になって、神戸YMCAの大切な方々が相継いで天国に旅立たれました。神戸YMCAの元副総主事であり、主事在勤37年の内、27年を神戸YMCA余島キャンプ長として勤められた近江岸建助さん(おのみぎしけんすけ)も、去る5月29日に天に召されてしまいました。享年60歳。余りにも早い旅立ちに、建助さんから多大な感化を受けたキャンパーやリーダーのOBOGは、言葉なく涙したお別れの時でした。私も建助さんとは30年のお付き合いで様々なことを教えていただきましたが、日焼け



した身体は色浅黒く精悍で、颯爽とボートに乗り込む姿、ギターをかき鳴らして歌う姿、何よりも子どもたちに注ぐ優しい目をもってキャンプの長として君臨する姿は、ただただ格好良く、真似のできないオーソリティの姿でした。

カンセルファイアの最後、小さくなった薪の火

を見つめながら、「薪のような人間になろう」という建助さんの言葉にキャンパーは涙を流して聞き入りました。「薪は自分を燃やして闇を照らし、周りを明るく温かくする。そしてわが身は灰になって消えてしまう。みんなも薪のように周りを明るく温かくする人間になろう。みんなのリーダーがそうであるように...。」しかし、それはまさしく建助さんの生き方そのものだったのです。

余島にすがすがしい風が吹くとき、余島の海に子どもたちの歓声が響くとき、キャンプファイアの火が燃えるとき、建助さんがそこにいるような気がします。

まもなく、建助さんが大好きだった夏がやってきます! もうすぐ、建助さんの愛した余島のキャンプが始まるよ! 建助さん、余島の森、われらが古巣へ、また帰ってきてくださいね!

チェンマイデイズ

第2回は、2008年2月15日(4月15日の2ヶ月間、神戸YMCA派遣ボランティアスタッフとしてチェンマイYMCAに派遣された中道潤子さんから活動報告です。7月中旬に帰国予定です。帰国後、報告会を予定しています。

サワディーカー! 私は今チエンマイYMCAのボランティアであるサオヒンYMCAでボランティアをしています。今、タイは暑期真っ只中。マンゴーやライチなどフルーツがたくさん市場に並び季節です。私とタイの出会いは7年前、学生時代に三田YMCAで野外活動のリーダーをしていた時、第18回タイワークキャンプに参加しました。ホストファミリーと過ごした日々、タイの仲間との共同作業、子どもたちとの触れ合い、たった10日間の短いキャンプ、7年後の私を今こうして動かす原動力となっています。

タイに来た目的はタイワークキャンプをチェンマイで手伝ったこと、それから、私と同じように夢をいつか心に詰めたいと思っただけです。タイ語も話せないと話せないと等しい私の武器は、勢いと気持ちだけ。そんな私を以前から旅行で訪れていたサオヒンYMCAはボランティアとして受け入れてくれました。この一年タイ語学校に通いながらサオヒンYMCAの様々な活動に参加させてもらっています。環境問題や社会開発事業に取り組んでいる活動は私にとって新鮮で多くの学びを得ることができました。

日本人として求められる事は、

はり語学でスタディーアップなどして行きます。しかし語学習得の私には大変な役割でした。毎回、失敗や困難がたくさん、反省ばかりだったけれど一番心に残っていることがあります。今年2月にチェンマイを訪れた日本人グループの担当はサオヒンYMCAのメンバー、メイウさん。英語が苦手なこのグループに挨拶するとき私が彼女の言葉をタイ語から日本語に通訳しました。頭張った前から試行錯誤しながら、入る言葉や単語だけを肩に力が入りかけていた私ですが、その時、傾いた心で触れた気がしました。そして、その心で日本語を伝えた時、日本の人たちが「メーウさん、心」を届けた気がしました。今でも勉強中なので「メーウさん、心」を届けています。ただ言葉だけを伝えて通訳はできない、「ココロ」を届けているのだとわかりました。大好きな人の心は伝えられたのだと、チエンマイに来てタイ語を学んで、チエンマイの生活。残りわずかのチェンマイ生活。今は熱い空気、滝のようなスコール、バナナの大きな葉、甘い甘いココナツのジュース、街中の大きなオハイノム、そして大好きなサワディーカー! です。一日一日を大切に過ごしたいです。では皆さん、



シリーズ「くわいのまど」

ウエルネスセンター三宮	078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	078(241)7237
ランゲージセンター	078(241)7204
専門学校	078(241)7203
西宮YMCA	0798(35)5987
三田センター	079(559)0075
余島野外活動センター	0879(62)2241
国際奉仕センター	078(241)7204



ウエルネスセンター学園都市	078(793)7401
西神戸YMCA	078(793)7402
西神南センター	078(993)1560
須磨YMCA	078(734)0183
YMCA保育園	078(794)3901
西宮YMCA保育園	0798(35)5992
YMCAちとせ幼稚園	078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	078(997)7705

2008年度総会 **ボランティア奨励賞**

<余島センター>

郷間 環(ごうま めぐる)さん

現役野外活動リーダーを卒業後、4年間にわたり、夏の忙しい時期に余島センターのボランティアスタッフとしてプログラム指導補助、レストラン業務補助などあらゆる余島の仕事を精力的に担っていただいています。又、浜辺では海パンリーダーの愛称で、子どもから大人までに親しまれています。

<本部事務局・三宮ランチ他>

混声合唱団くさぶえ

神戸YMCAの周年行事、毎年の創立記念日礼拝、ワイワイフォーラム、バザーなど、神戸YMCAの行事を守り立てるボランティア活動を続けてくださっています。

<YMCA保育園>

太期聡一郎(だいき そういちろう)さん

この一年間毎週定期的に保育園園児の保育補助に参画し、子どもの日常生活のなかで、先生との関わり以外に、インパクトのある生活体験ができました。また2泊3日の夏のゆり組キャンプにも参加していただき、子どもたちにも熱く語るなど、非常に有意義な経験を与えていただきました。

<ウエルネスセンター学園都市>

藤井久子(ふじい ひさこ)さん(ウエルネスセンター総合会員、学園都市ワイズメンズクラブ)

日常の活動はもちろん、いつもYMCAの活動のことを気にかけていただき、サポートしていただいています。特に、イルカ記録会にはほぼ毎回、チャリティスイムは事前の実行委員会から関わり、多くの助言をいただいています。

北山咲花さん(ウエルネスセンター学生会員)

日頃はウエルネスセンターの学生会員として活動をされています。イルカ記録会でのボランティア活動は多くの子どもたちの手本と憧れになっており、イベントを中心にしながらすすんでYMCAのボランティア活動に参加していただいています。

<西神戸YMCA>

日本語ボランティアチューター

日本語学校約60名の留学生に対して、授業以外で日本語を使う機会を増やすために日本語の勉強のサポートをしてくれています。学生と一対一で趣味や家族の事、それぞれの国や社会問題など様々なテーマについて基本的に1週間に1回、1時間程度話をして会話の練習をお手伝い頂いています。登録者数が約40人、約20人は定期的に活動されています。

<ウエルネスセンター三宮>

稲葉勇城さん(いなば ゆうき)さん

昨年度一年間幼年アクアティックプログラムのボランティアリーダーとして日常的に関わって頂いています。日常プログラムでは、担当グループを指導するほか、昨年夏の全国大会や各種大会の引率や大会役員、そしてYMCA内部のイルカ記録会や中日本大会、世代間水泳にも関わって頂きました。08年度もスタートの研修を受け、日常的に参画していただいています。

2008年度総会 **感謝**

長尾 亘(ながお わたる)さん

宝塚YMCAは1987年から宝塚市伊子志に会館を設置し活動を行ってまいりましたが、97年に規模縮小を行い、宝塚ワイズメンズクラブやリーダー有志による運営委員会が寄付金募集などの活動を行い支えてきました。その後、宝塚YMCAのあり方を見直す中で活動拠点として会館を提供して下さり、毎週の英会話教室、毎月の宝塚ワイズメンズクラブの例会、また長期の休みでの小学生の預り保育(スクール)等地域のための活動場所、またクリスマスコンサートやバザーなどの準備、発信のための拠点として利用をさせていただきました。長尾さんはワイズメンバーだけではなく、東部地域委員会の委員として、宝塚地域でのYMCA活動のための提言を積極的に行うなど、YMCAの活動の担い手としても活躍をされています。

青野桃子(あおの ももこ)さん

1月14日にメンバーがウエルネスセンター学園都市のマシンルームで倒れ、AEDを 작동させる事故が起きた時に当時看護学校生でマシンケアの非常勤講師をしていた彼女がリーダーシップを発揮し、的確な処置を行ってくださいました。倒れたメンバーはその後通常の生活に戻る事ができるまでに回復、搬送先の病院や救急隊からも発見後の処置が良かったからだとお褒めいただきました。その功績により、神戸YMCAウエルネスセンター学園都市として神戸市から花時計賞を受賞しました。

現在は神戸赤十字病院勤務。所属は整形外科。和歌山県立大学看護短期部で学びその後、神戸市看護大学に編入し4年生時の約1年間ウエルネスセンター学園都市で勤務していただきました。

日本宝くじ協会 テントのご寄贈感謝!!

日本宝くじ協会様より、日本YMCA同盟を通じて、YMCA保育園ならびに神戸YMCAちとせ幼稚園に集会用テントが寄贈されました。長年にわたり、子どもや若者の事業をお支えいただき本当に感謝します。夏の炎天下の園庭あそびや、地域住民への園庭開放、また新設保育園のために、様々な機会での使用を考えています。



西宮ワイズ、近江八幡ワイズ、広島ワイズ、60周年 5 / 17



神戸ポートワイズ 20周年 4 / 29



宝塚ワイズ 20周年 5 / 31



芦屋ワイズ 10周年 4 / 19



創立記念日礼拝 5 / 8



三宮ランチ 4 / 27
スプリングコンサート(ピアノ発表会)



西体育館20周年イベント 5 / 11
「Thanks Festa ~ありがとう!いつまでも、そしてこれからも~」
西体育館20周年を、館利用者だけではなく、近隣施設(障害者施設など)、小学校、地域スポーツクラブなど地域の方々に楽しんで頂きました。午前は10個のゲームブースをまわり、午後は輪投げ大会。
参加者約300名。



ユースプラザ KOBE・EAST イベント 5 / 3
フリースペースを会場としたミニコンサート第一弾。
コンサートの最後、その日初めて出会ったEmyさん&「青春シンガーズ」の仲間と寺尾仁志さん&Human Noteの皆さんがジョイントして演奏している場面。
参加者約100名。

個人消息

- 退職 おつかれさまでした**
島田 保子さん(神戸YMCAちとせ幼稚園) 6 / 30
山田 洋一さん(本部事務局) 6 / 30
- ご結婚 おめでとうございます**
松本くみ子さん(西神戸ランチ)岸本光太郎さんと 5 / 24
- お誕生 おめでとうございます**
楊 光 さん(カレッジ)ご長男 奥辰(おうしん)さん 5 / 5
- ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます**
松本 恒司さん(西神戸ワイズメンズクラブ) 5 / 6
近江岸建助さん(名誉主事・元神戸YMCA副総主事・元余島キャンプ長・前西宮YMCA保育園園長) 5 / 29
古谷 武雄さん(名誉主事・元神戸YMCA総主事) 6 / 7